

2013 年度 中国現代文学研究者懇話会のご案内

中国現代文学研究者懇話会(以下、当会)は、長期にわたり日本中国学会全国大会準備会(開催校)のご協力を得ながら、年1回、学会全国大会の前日に開催してまいりました。かつては「中国現代文学研究者のつどい」(通称「前夜祭」)として実施し、数年前に「中国現代文学研究者懇話会」と改称、関東・関西・九州を中心に世話人を置き、形式上独立した運営形態を持つに至っておりますが、学会の前日・金曜日に学会開催校の方々を煩わせての開催を続けてまいりました。しかしながら、近年は各大学の事情により、金曜の午後では参加が難しいとのご意見を数多く頂戴しております。そこで、昨年大阪で開催いたしました当会の席上で、学会と完全に切り離す形で11月3日(文化の日)前後に行うこと、当面の間、開催地は関東地区と関西地区で1年交替とすることをご提案し、出席者の皆様にご了承いただきました。

中国現代文学とその近接分野を研究する方々の交流や親睦、情報交換の場として、当会が息長く存続できますよう、世話人一同努力してまいります。当会は組織ともいえない1年1回の集まりですし、世話人も運営のプロではありませんが、なにとぞ事情をご賢察いただき、今後とも変わらぬご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

なお、今年は下記の通り、東京での開催となります。当会の再出発を飾るにふさわしい充実した会となりますよう、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

日時：11月3日(日) 14:30開場

場所：東京大学駒場キャンパス(京王井の頭線・駒場東大前駅下車、徒歩1分)

*京王渋谷駅より駒場東大前駅まで、普通電車で約2分(急行は止まりません)

第一部(懇話会)：15:00~18:00 18号館ホール

参加費：1000円

テーマ：「いま“中国を知るために”~人文学は何ができるか~」

- 問題提起： 1. 鈴木将久(一橋大学) 文学研究者の立場から
2. 坂元ひろ子(一橋大学) 思想哲学研究者の立場から
3. 岸本美緒(お茶の水女子大学) 歴史研究者の立場から

総合司会：代田智明(東京大学)

*内容に関する詳細は、別紙「趣意書」をご覧ください。

第二部(懇親会)：18:30~20:30 駒場ファカルティハウス・セミナー室

参加費：6000円(教員)、5000円(院生)

*ファカルティハウス内のフレンチレストラン・ルヴェソンヴェール駒場の料理をお楽しみいただきながら、第一部の議論をさらに深めていただければと存じます。

中国現代文学研究者懇話会世話人

北岡正子(代表)、岩佐昌暲、佐治俊彦、
小谷一郎、代田智明、青野繁治、宇野木洋、
松浦恒雄、西野由希子、白井重範(事務担当)
お問い合わせ：白井重範

2013 年度 中国現代文学研究者懇話会・開催趣意書

「いま“中国を知るために”～人文学は何ができるか～」

今年の日中平和友好条約締結 35 周年にあたりますが、ここ数年の日中間の緊張状態のため、友好的なイベントはほとんど行われていません。一方、各メディアによって日中双方のイメージが、やや一方的に報道され、日中間で嫌中・反日感情が異常に高まっていることは日頃肌で感じるところでしょう。もとより巷間では、自分たちの感情を確認するための偏見に満ちた中国論が、相変わらず蔓延っています。

しかしながら、中国の国際的プレゼンスの拡大に伴い、ひとかどの研究者による一般向けの中国論も出版されるようになりました。そこでは、近現代に限らず、近世からの中国社会を日本と比較するような傾向も見られます。これらを踏まえ、いきおい感情に流されがちな日本社会の中国イメージに対し、私たち人文学の中国研究者、とりわけ近現代文学研究者には、どのような発信ができるのでしょうか。

私たちの研究を通して、教室や市民講座で学生や一般の人びとに対し、何を語れるのか、語るべきなのか、考え直してみたい。当日は特に歴史・思想専門の研究者を交え、「中国」イメージを再検討しながら、議論を深めたいと思います。

11月3日(日) 15:00～18:00 於・東京大学駒場キャンパス 18号館ホール

総合司会 代田智明氏(東京大学) 専攻・近代文学

*時間配分は、当日の進行状況によって変更されることがあります。

1. 問題提起(各 25 分)

鈴木将久氏(一橋大学) 専攻・近代文学

坂元ひろ子氏(一橋大学) 専攻・近代思想哲学

岸本美緒氏(お茶の水女子大学) 専攻・近世史

休憩(15分)

2. パネルディスカッション(40分)

司会+鈴木・坂元・岸本各氏

3. フロアーとの応答(50分)

参考図書(下記のほかにも参照すべき書籍がありましたら、当日ご紹介ください)

岡本隆司『中国「反日」の源流』講談社メチエ、2011年1月

同 『近代中国史』ちくま新書、2013年7月

与那覇潤『中国化する日本 日中「文明の衝突」一千年史』文藝春秋、2011年11月

橋爪大三郎・宮台真司・大澤真幸『おどろきの中国』講談社現代新書、2013年2月

丸川哲史『思想課題としての現代中国 革命・帝国・党』平凡社、2013年8月